



新型コロナウイルスに関する
対応や今後についての
アンケート
『薬剤師に聞きました』

金沢元町在宅医療を考える会
(一社)金沢市薬剤師会
副会長 乙田雅章



1.業務への影響

日常業務

- ▶ アクリル板やマスク着用で、声が聴きにくくなった。指導が伝わりにくくなった。
- ▶ マスクをしない、消毒をしないなど患者様によって感染対策の意識が違う。
- ▶ 消毒など感染対策に費やす時間が増えた。
- ▶ 長期処方が増えた。風邪などの処方が減った。
- ▶ コロナ対策のため業務手順の見直しをした。
- ▶ 車での投薬。
- ▶ 0410対応により、処方薬の郵送、電話での服薬指導を行う。



1.業務への影響 居宅業務

- ▶ 在宅患者が増加した。
- ▶ 訪問先で新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者がいた。
- ▶ 施設での面会制限、訪問禁止があった。



1.業務への影響 経営面

- ▶ 患者減少、処方箋減少に伴い経営悪化。
- ▶ マスクやアルコール、体温計のほか衛生用品が高騰、欠品となった。



1.業務への影響 従業員の状況

- ▶ いつ感染するか分からない不安との戦い。
- ▶ 従業員の感染リスク管理。



1.業務への影響 患者様の状況

- ▶ 患者さんの気持ちが不安定。



1.業務への影響 研修について

- 初期の頃の研修会の中止や開催されてもコロナを気にして行けなかった。
- 薬学実習生の指導(在宅など連れて行けなかった。



2. 苦慮・大変なこと 感染対策

- ▶ マスクの在庫困難、マスク不足。
- ▶ 感染対策が混雑時は目が行き届かない。
- ▶ 待合室で距離を置いて座ると患者さんが入れなくなり外で立っていた。
- ▶ 検温・手指消毒をお願い。
- ▶ 換気するので寒くなるかもしれない。
- ▶ 徹底した衛生管理。
- ▶ マスクをして来られない方などへの注意。
- ▶ 血圧計が使えない(共同使用のため中止中)。



2. 苦慮・大変なこと 服薬指導

- ▶ パーテーションやカーテンをつけることで声が聞こえにくい。
- ▶ ソーシャルディスタンスでの意思疎通が難しい。
- ▶ 吸入指導など呼吸器に関わる薬の説明を近づかずにやらなければいけない。
- ▶ 待合が混雑しないよう車の中で待ってもらう様に声かけした。
- ▶ 待合室が狭いので距離を取って待てない。



2. 苦慮・大変なこと 非対面業務

- ▶ 郵送が増えた。
- ▶ 薬の配達業務。
- ▶ 電話による服薬指導で患者様とコンタクトがなかなかとれない。



2. 苦慮・大変なこと 居宅業務

- ▶ 個人宅の在宅ではなるべく玄関で作業するようにしている。
- ▶ 施設へ行く事が出来ず十分な聞き取りが出来ない。
- ▶ 個人宅の患者さんは訪問時、マスク着用されていないことが多い。
- ▶ 利用者さんから私たち医療従事者が新型コロナに感染していないと言い切れないので接触が怖いと言われた。

3.工夫したこと 薬局内

- ▶ 消毒などの感染対策を徹底して行っています。
- ▶ カップ着用。ゴーグル使用。専用白衣等の準備。フェイスシールドの着用。
- ▶ 患者宅に入る前に新しい白衣に着替え、薬局に戻ったらすぐ洗濯に出している。
- ▶ コロナ疑いの方への投薬時の配慮。
- ▶ 車中でのお待ちいただくためエコチャイムを購入してチャイムで連絡出来る様にした。
- ▶ 薬局内の患者様の人数制限、対応時間。
- ▶ 声が届きにくい方は筆談を取り入れるなど誤った情報のままにならないようにする。
- ▶ 熱発のある方は局外に感染対策ルームを設置し、そちらに入ってもらう形をとった。
- ▶ 手を直接触れないように対応している。導線など考え対応している。



3.工夫したこと 服薬指導

- ▶ 電話診療という新しい形があるということを伝えた。
- ▶ 先に電話にてほとんど投薬を終わらせる。
- ▶ LINEを使った連絡。



3.工夫したこと 職員対策

- ▶ 社内の勉強会を集合型からオンラインに変更している。
- ▶ 業務前の毎朝の検温。
- ▶ 休憩時間の配慮。2 m間隔、対面しない、時間差休憩、一部屋に密にならない。

4.仕事への思い

- ▶ 今まで通り頑張っていこうと思ったから。
- ▶ 高齢者と同居していたがケアハウスに入居してもらい、家族への感染を防ぐことが出来たため。
- ▶ 仕事に対する考えは特に変わらないので。
- ▶ 特に不満はなく、現状より悪化がなければ今の患者様をしっかりと見たいため。
- ▶ コロナの影響はほとんどないため。
- ▶ 受診、服薬指導が難しい環境だからこそ薬剤師が患者とDr.の橋渡しにならなければいけないと感じた！
- ▶ まだできることがある！
- ▶ 生活維持のため
- ▶ 感染症は常に起こり自他共に注意が必要と思っており、特別な仕事についての弊害はありませんでした。
- ▶ 地域医療の中で必要な存在を目指したい！

4.仕事への思い

- ▶ ウイルス感染に注意して業務を続けたい！
- ▶ 在宅支援の必要性を再確認したため！
- ▶ 地域医療に貢献しなければならないから！
- ▶ 他にない。
- ▶ 感染症が起るのは仕方がないことなので、特に仕事への想いは変わらない。
- ▶ 今こそ薬剤師を認知してもらえるチャンスだと思うから！
- ▶ 医療従事者(薬剤師)として働く決意をした際に、辞めるという選択を持たないと決めた！
- ▶ 特に考えたことない。
- ▶ 特別変わりはないし、コロナの患者数も石川県は少ない。
- ▶ 医療に携わっているため。

4.仕事への思い

- 感染症対策をしていれば、これまで通り続けられるため。
- これまで通りで問題ないです。
- まだ辞めるときではない。
- 医療者として自分に与えられた仕事は全うしたいから！
- 特に辞める必要はないから。
- 今後の時代の変化は不安だが、辞めようと思ったことはない。
- 感染症の流行は受け入れている。
- 治療継続出来る様、対処する。
- 必要としていただいていると思っているので、辞める予定はない！
- 感染対策をしっかりすれば特に問題ないと思っています。
- かかりつけ患者など自分を必要としてくれる人がいるため！



Ⅲ. 質問・ご要望・ご意見

薬剤師・薬局は積極的に居宅業務
に取り組んでいます！

どうぞお声がけください！